

医療機関等証明欄【病院・薬局等が記入】

※必ず病院や薬局等に記入を依頼ください。受給者等による記載は無効です。

患者氏名			生年月日								
申請理由 (いずれかに チェック)	<input type="checkbox"/> 有効期間内に主保険単独で支払をしたため <input type="checkbox"/> 医療券を適用して支払した医療費について負担上限月額が減額されたため <input type="checkbox"/> その他(理由を記載)										
診療 調剤	年月	保険種別	負担区分	適用区分を 記載(会計 時に限額 認定証又は オンライン で確認した とき)	入院 外来 別 調剤	受診日数	左記の うち 有効期 間内の 日数	1か月分の保険 総点数 (訪問看護ス テーションの場 合は総金額)	左記のうち有効 期間内かつ公費 対象の保険点数 (訪問看護ステ ーションの場合は 金額)	窓口での患者負 担額(注1)	※事務処理 欄 (この欄は 記入しない くださ い)
食事療養・生活療養標準負担額											
年月	国保(1) 社保(2) 後期(3)	1割 2割 3割			入院(1) 外来(2) 調剤(4)	日	日	点(円)	点(円)	円	
有効期間内の食事数 × 1食単価									円		
( ) × ( ) =									円		
年月	国保(1) 社保(2) 後期(3)	1割 2割 3割			入院(1) 外来(2) 調剤(4)	日	日	点(円)	点(円)	円	
有効期間内の食事数 × 1食単価									円		
( ) × ( ) =									円		
年月	国保(1) 社保(2) 後期(3)	1割 2割 3割			入院(1) 外来(2) 調剤(4)	日	日	点(円)	点(円)	円	
有効期間内の食事数 × 1食単価									円		
( ) × ( ) =									円		
年月	国保(1) 社保(2) 後期(3)	1割 2割 3割			入院(1) 外来(2) 調剤(4)	日	日	点(円)	点(円)	円	
有効期間内の食事数 × 1食単価									円		
( ) × ( ) =									円		
注 「窓口での患者負担額」は当該診療月における保険総点数分として窓口で支 払った額(対象疾病以外分も含む)の合計を記入してください。										合計	
										※食事療養・生活 療養標準負担額 む	円

上記のとおり証明します。 年 月 日 医療機関コード

[医科1・歯科3・調剤4・看護6]

所在地 施設名	印	部署名 氏名
管理者名 電話番号		記入者名 電話番号 (内線まで)

【医療機関等証明欄の記載については下記のとおりお願いします。】

- 「1か月分の保険総点数」欄は当該診療月における、対象疾病以外分も含んだ医療保険総点数を記入してください。  
 ◎レセプトの「請求」の項の「保険」の項の点数に該当します。  
 ◎介護保険分については「介護給付費支給申請書兼口座振替依頼書」に記入してください。  
[https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/seikatsu/josei/tukaikata/s\\_kaigo.html](https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/seikatsu/josei/tukaikata/s_kaigo.html)
- 「左記のうち有効期間内かつ特定医療に係る保険点数」欄は当該診療月における、対象疾病のみ(対象疾病以外は除く)保険点数を記入してください。  
 ◎レセプトの「請求」の項の「公費①」の項の点数に該当します。  
 ◎助成額算定の際に重要な項目ですので、保険点数と同点であっても必ず記載をお願いします。  
 ◎院外処方等により対象点数が御不明な場合には、必ず処方元の医療機関へ確認をお願いします。
- すでに受給者証をお持ちで、医療券と管理票を使って受診している場合には、証明欄の記入は必要ありません(払い戻しが必要な場合は、領収書の原本と管理票のコピーで申請できます)。

※記載方法の詳細は、裏面を参照してください。

医療機関からの事務連絡欄	※公費対象点数と支払金額に相違がある場合は、その理由を記載してください。 (記載例)マル牌併用のため、点数修正によりレセプト再提出したが、患者本人の会計に変更なし、等。
--------------	---

医療費支給申請書 兼 口座振替依頼書(難病(国疾病)、特殊医療)

この申請書は、受給者証又は医療券を使わずに支払った医療費や自己負担上限額を超えて支払った医療費を請求するためのものです。該当する医療費がないときは、提出の必要はありません。  
 詳しくは裏面の記載例・注意事項を必ずお読みください。

- 医療機関等に受給者証等を提示の上、右欄に証明を受けてください。
- 申請書は医療機関等ごとに1枚必要です。(証明書発行にかかる手数料は助成対象外です。)
- 申請者の方は、太枠の中を記入し、医療機関等で証明を受けたものを、下記まで郵送してください。
- 診療月から5年間は申請が可能です。
- 振込み時に、支給額・振込予定日を郵送でお知らせします。(振込みまで2~3か月程度かかります。)

【書類送付先】 〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1  
 東京都福祉局生活福祉部医療助成課マル都担当 電話 03(5320)4454

・太枠の中は、必ず記入してください。

* 0												
(公費)負担者番号												
受給者番号												
振込先口座	金融機関名	銀行 信用金庫 信用組合 農協					預金種別	1 普通 2 当座 3 貯蓄				
	支店名	支店 出張所					口座番号 (7桁) 番号は右詰めで記入					
		支店番号					フリガナ					
*ゆうちょ銀行への振込みも可能です。(裏面に記入方法あり)												
口座名義人 漢字												
医療機関等証明のとおり、認定疾病に係る医療費の申請をします。支給額決定後は、上記の口座に振り込んでください。また、本申請に関して、東京都が直接保険者及び医療機関等へ照会し、保険者及び医療機関等が東京都に当該情報を提供することに同意します。												
東京都知事 殿												
(受給者) 〒( ) 住所						(申請者) ※受給者と申請者が同じ場合は記載不要です。 〒( ) 住所						
氏名						氏名						
生年月日 ( 明治 大正 昭和 平成 令和 )						受給者との続柄 ( )						
電話						電話						

※上記振込先口座にゆうちょ銀行を指定する場合は振込用の支店番号・口座番号を記入ください。  
 不明の際は、右欄に記号・番号を記入ください。

通帳記号(左から5桁)					通帳番号(末尾1を含む8桁)							
1				0								1

※受給者以外の口座を振込先として指定する際は委任状の記入が必要です。(詳しくは裏面をお読みください。)

委任状

私は、下記の者を代理人と定め、東京都の医療費の請求及び受領に関する権限を委任します。

東京都知事 殿 年 月 日

(委任者/受給者本人)

(受任者/振込先口座名義人)

住所 住所

氏名 印 氏名 印

申請者の方へ【必ずお読みください】

この用紙は、医療券[難病(国疾病)(負担者番号 51136018)・特殊医療(先天性血液凝固因子欠乏症等)(負担者番号 51137016)]を交付された方が、区市町村等の担当窓口にて認定の申請をして受理された日から医療券が交付されるまでの間に支払った医療費や、医療券が使えない医療機関で支払った医療費について、東京都から支給を受けるためのものです。

◆申請できる医療費について【該当がなければ本申請書を提出する必要はありません】

- この用紙で請求できる医療費は、以下の要件をすべて満たすものです。
- 医療券に表示された疾病を治療するために受けた診療・調剤・訪問看護であること
  - 医療券の有効期間内に受けた診療等であること
  - 医療保険が適用されているものであること

◆記入例

(公費)負担者番号	5	1	1	3	7	0	1	6	受給者番号	1	2	3	4	5	6	7
振込先口座	金融機関名	みやこ						預金種別	普通 2 当座 3 貯蓄			口座番号(7桁)				
	支店名	新宿	出張所	支店番号	0	1	2	口座名義人	漢字 東京 花子							
医療機関等証明欄のとおり、認定疾病に係る医療費の申請をします。支給額決定後は、上記の口座に振り込んでください。また、本申請に関して、東京都が直接保険者及び医療機関等へ照会し、保険者及び医療機関等に東京都に当該情報を提供することに同意します。																
東京都知事 殿																
(受給者)住所 〒(162-8000) 新宿区西新宿1-1-1 氏名 東京 花子 生年月日(明治 大正 昭和 平成 令和) 28年 3月 1日 電話 03-5320-1234									(申請者) ※受給者と申請者が同じ場合は記載不要です。住所 〒(162-8000) 新宿区西新宿1-1-1 氏名 東京 太郎 受給者との続柄(夫) 電話 03-5320-1234							

医療券を見て、正確に記入してください。

通帳等を見て太枠の中を正確に記入してください。原則として、受給者本人の口座を指定してください。

ゆうちょ銀行を指定される場合は、振込用の支店番号・口座番号を記入してください。※キャッシュカードに表記がある場合もありますが、不明な場合は「同意書」上部の記号・番号欄を記載ください。(この場合も、口座名義は振込口座欄に必ずご記入ください。)預金種別未記載の場合は普通預金での処理となりますので、確認の上、必ずご記入ください。

◆委任状について【左欄下部欄使用可：同内容で別途作成して提出することも可】

- 受給者以外の口座に振り込む場合は、委任状が必要です。
- 事前に都に申請者として届け出た家族等の口座に振り込む場合は、委任状は不要です。
- 受給者が未成年で保護者の口座に振り込む場合は、委任状は不要です。
- 受給者本人がお亡くなりになり、委任ができない際は、委任状に代えて除籍謄本など受給者の方が亡くなった事実と、振込先口座名義人との関係(相続人であること)が確認できる資料を添付ください。

◆高額療養費等について

医療機関等の窓口で支払った金額のうち、高額療養費等に相当する部分は、御加入の健康保険等から支給されるため、東京都はその額を差し引いて支給します。高額療養費等の請求方法は御加入の健康保険等により異なりますので、詳細については、御加入の健康保険等にお問い合わせください。

◆その他注意など

- 医療機関等証明欄に医療機関等の証明を受けて申請してください。証明書発行にかかる手数料は助成対象外です。
- 申請書は医療機関ごとに1枚ずつ必要です。
- 申請書は、区市町村の担当窓口で配布しています。用紙が不足する場合は、表面のみコピーして使用しても構いません。東京都福祉局のホームページからダウンロードすることができます。<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/seikatsu/josei/tukaikata/index.html>
- 介護給付費の申請は、「介護給付費支給申請書兼口座振替依頼書」を使用してください。

医療機関・薬局・訪問看護ステーションの方へ【必ずお読みください】

- 証明の際は、医療券の提示を受け、医療費の支給申請ができることを確認してください。
- 医療券に表示された疾病に関する治療でないもの、医療保険が適用されないもの、医療券の有効期間外のもの、都の助成が受けられないので、証明の必要はありません。
- 公費併用レセプト等により医療費助成額を請求しているものは、重複請求となるため、証明の必要はありません。
- 有効期間の開始日が月の途中からとなる場合は、外来診療は、有効期間の開始日以降の医療費を助成の対象とし、開始日以前の医療費は助成の対象としません。入院診療は、診療月内における有効期間の開始日以降の診療報酬点数(点したも)に医療保険の負担割合を乗じて求めた自己負担額を助成の対象とします。

◆記入例

診療種別	年月	保険種別	負担区分	診療内容(診療時間外に実施した場合は)	入院別	受診日数	左記のうち有効期間内の日数	1ヶ月分の保険総診療費(訪問看護ステーションの場合は総金額)	認定疾病に係る保険診療費(保険診療費のうち認定疾病に係る診療費)	窓口での患者負担額(注)
1	5年11月	① 国民健康保険(2)	① 割増(3)	① 入院(1) ② 外来(2) ③ 調剤(4)	5日	3日	58,310円(円)	21,789円(円)	174,930円	有効期間内の食事費×一食単価(9)×(460)=4,140円
2	5年11月	① 国民健康保険(2)	① 割増(3)	① 入院(1) ② 外来(2) ③ 調剤(4)	5日	3日	58,310円(円)	21,789円(円)	174,930円	有効期間内の食事費×一食単価(9)×(460)=4,140円
3	5年1月	① 国民健康保険(2)	① 割増(3)	① 入院(1) ② 外来(2) ③ 調剤(4)	10日	10日	98,010円(円)	98,010円(円)	15,000円	有効期間内の食事費×一食単価(9)×(210)=1,890円
4	5年2月	① 国民健康保険(2)	① 割増(3)	① 入院(1) ② 外来(2) ③ 調剤(4)	1日	1日	10,250円(円)	7,370円(円)	8,000円	有効期間内の食事費×一食単価(9)×(30)=2,700円
5	5年11月	① 国民健康保険(2)	① 割増(3)	① 入院(1) ② 外来(2) ③ 調剤(4)	7日	7日	5,280円(円)	5,280円(円)	1,580円	有効期間内の食事費×一食単価(9)×(30)=2,700円
合計										271,690円

入院時食事・生活療養費(食事代のみ)がある場合は、上段の診療費と別掲で、標準負担額を記入してください。

医療機関コード(7桁)を必ず記入してください。

所属・担当名(問い合わせに対応できる方)を必ず記入してください。

必ず押印してください。

該当するものに○をしてください。(薬局は調剤4に○をしてください。)

【留意点】レセプト単位で記入してください。記入例①から⑧は以下のとおりお願いします。

- 「保険種別」・「負担区分」は受診時の主保険の情報に○をしてください。
- 「適用区分を記載」は、会計時に限度額認定証又はオンラインで確認した場合のみ、適用区分を記入してください。(窓口での患者負担額の根拠として確認させていただきます。証明記入時の受給者証の区分とは一致しない場合があるため、不明な場合は記入しないでください。)
- 入院、外来、調剤のいずれかに○をしてください。薬局は外来ではなく「調剤」を選択してください。
- 「受診日数」は受給者証等の有効期間にかかわらず、月の診療日数(レセプトの日数)を記入してください。※薬局では処方せんの受付回数を記入してください。
- 「左記のうち有効期間内の日数」は④受診日数のうち、受給者証の有効期間内の日数を記入してください。※薬局では処方せんの受付回数を記入してください。
- 「1か月分の保険総診療費」は当該月の保険総診療費(レセプトの点数)を記入してください。※訪問看護ステーションの場合は、当該月の療養費(円)を記入してください。
- 「左記のうち有効期間内でかつ特定医療に係る保険点数」は受給者証の有効期間内でかつ認定疾病にかかる点数を記入してください。※訪問看護ステーションの場合は、認定疾病のみに係る療養費(円)を記載してください。
- 「窓口での患者負担額」は、⑥で記載の1か月の保険点数に対応する窓口領収額を記入してください。※助成額は⑦の点数から高額療養費等を考慮して都が再計算するため、⑧の金額とは必ずしも一致しません。